



流防協だより

令和3年1月
第55号

一般社団法人

発行: 千葉県流通商防犯協力会
千葉市中央区中央3-4-8 コーノビル7F
TEL.043-224-0893 FAX.043-224-2241
HP <http://www.cppd.jp/>

当法人は、各会員の相互扶助の精神に基づき、団結して防犯対策及び暴力団排除活動並びにパチンコ賞品の合法、適正な流通を推進することにより、会員の健全な経営活動を促進し、かつ、その地位の向上を期することを目的とする。



令和3年 年頭ご挨拶



一般社団法人 千葉県流通商防犯協力会

理事長 立澤 真人

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様方には、ご家族ともどもご健勝で輝かしい新年を迎えられましたことと心からお慶びを申し上げます。

また、昨年中、当協力会に賜りました多大なるご支援ご協力に対しまして衷心より御礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、2月中旬ごろから新型コロナウイルス感染症が世界に拡大し始め、日本では3月に東京オリンピック・パラリンピックの1年延期が決まり、4月7日から5月6日までの間、本県を含む7都府県に緊急事態宣言が発令され、これまでの日常生活が一変、人の往来が途絶え、パチンコホールも営業自粛を余儀なくされました。

緊急事態宣言の解除後、ホールの営業は順次再開され、業績は6月、7月回復傾向にあったものの、8月以降は伸び悩みがみられるなど、新型コロナウイルスの感染拡大前の状態には程遠く、全国のホール閉店数は例年を上回るペースで増加しております。

こうした厳しい現状を踏まえ、当協力会におきましても、会員皆様の経営状況の一助となるよう4か月間の会費免除や感染リスクを考慮し、6月総会を书面決議としたところであります。

しかし、新型コロナウイルスの新規感染者数は8月の第2波、11月からの第3波と増加に歯止めがかからず、我々遊技業界には明るい兆しが見えてきておりません。現状は非常に厳しいことは十分に認識しておりますが、今できること、目の前のことをひとつひとつやっ、この難局を乗り切っていかなければならないと思っています。

今年の当協力会の取り組むべき課題等につきまして、会員皆様方にご理解をいただきたく、所信の一端を申し述べたいと思います。

課題の1つ目は、新型コロナウイルスの感染症防止対策の徹底です。

新型コロナウイルスの感染症につきましては、幸いこれまでパチンコホールをはじめ遊技業界でクラスターが発生したという話は聞いておりません。

また、当協力会の会員皆様の事業所等におきましても、感染者が出たとの連絡は受けておりません。これも、会員皆様が感染症予防対策を徹底していただいた結果であると考えており、皆様方の努力に改めて感謝申し上げます。

今年の早い時期に、日本でも新型コロナウイルスのワクチン接種が始まるとの報道がありますが、新型コロナウイルスの完全な封じ込めは難しく、今後も新型コロナウイルスを意識した日常生活を送らなければならないと考えております。

会員皆様には、引き続きご自身や社員及び家族に対する感染症防止対策の徹底をお願いいたします。

課題の2つ目は、令和5年10月から始まるインボイス制度(適格請求書等保存方法)の導入についての研究と会員の皆様への周知です。このインボイス制度の問題は地域に関係なく、卸業や買取業の全般にかかわることです。

当協力会においても、首都圏流通商団体研究会の「インボイス制度調査研究小委員会」に参加させていただき、東京、埼玉、神奈川の流通商団体の代表委員と

課題や疑問について広く意見を交わしております。

これまで2回小委員会に出席しましたが、パチンコの景品流通システムの特殊性からか、国において明確な対応要領が示されていないのが現状です。

今後、インボイス制度の対応要領がわかりましたら会員の皆様にお知らせしたいと考えております。

課題の3つ目は、「防犯対策」、「暴力団排除活動」及び「社会貢献による地位向上」のさらなる推進であります。

この三本柱については、設立以降一環として取り組んでまいりました。会員皆様のご尽力とご協力により、着実にその成果を上げてきたところであり、本年以降についても、各種施策を推し進めなければならないと考えております。

まず、防犯対策についてですが、昨年、県内での賞品（景品）買取所を狙った強盗事件等の発生は、2月に業務を終えて帰宅しようとした従業員を狙った強盗事件1件が発生しておりますが、その後の発生はありません。

このことは、会員の皆様が2年前に多発しました営業開始や営業終了間際の従業員の隙を狙った強盗事件に対する防犯対策の徹底を行っていただいた結果だと思っております。

引き続き、賞品（景品）買取所の従業員への注意喚起を図るとともに、防犯カメラや防犯ブザー等の活用を図るなど、防犯対策に努めていただくようお願い致します。

次に、暴力団排除活動についてであります。昨年1年間において、当協力会会員に対する暴力団の関与は認められませんでした。しかし、これまで暴力団が

みかじめ料の徴取先としてきました風俗店や飲食店等が、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により経営が悪化し、暴力団の資金獲得活動も厳しい状況に追い込まれております。

こうした状況下では、過去の事例にあるように遊技業界をターゲットにしていくことは十分予想されることから、暴力団の関与を常に意識しておかなければなりません。

さらに、コンプライアンスを高めるとともに、会員相互の情報交換を図り、暴力団排除という社会正義の実現を通じて社会的責任を果たしていきたいと考えております。

次に、社会貢献による地位向上についてであります。

当協力会が行っている自治体、社会福祉団体等に対する支援等の社会貢献につきましては、昨年は当協力会の予算の関係から支援先への寄付金は例年通りの金額とはいきませんでした。それでも支援先からは感謝が寄せられ、昨年9月16日には社会福祉法人「千葉いのちの電話」からの感謝状を受賞しました。

こうした継続的な取り組みが、当協力会の社会的地位の向上に繋がっているものと考えております。会員皆様のご理解とご協力を賜り、本年も、引き続き地域防犯活動、福祉活動等への貢献を通じて地位向上に努めてまいりたいと考えております。

最後となりましたが、本年は冒頭に触れましたとおり当業界を取り巻く環境は非常に厳しいものと認識しております。当協力会会員が一致団結してこの難局を乗り越え、更なる発展に結びつけることができるよう心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

謹賀新年

令和3年 元旦

一般社団法人 千葉県流通商防犯協力会

理事長 立澤 真人

副理事長 三井 勇 副理事長 堀田 豊 展

専務理事 吉田 喜 幸 理事 廣瀬 ミホ子

理事 中野 相 台 理事 内田 勝 久

理事 小糸 幸 司 理事 根本 恵 介

監事 清原 誠 烈 監事 中垣 馨

事務局一同

各種表彰の受賞

柏市長からの 感謝状受賞

昨年6月10日柏市役所において、柏市長から街頭防犯カメラ寄贈に対する感謝状が授与されました。



柏市長から感謝状を受ける立澤理事長



その他の 表彰

※ 感謝状の受賞

次の2団体から感謝状を受賞しました。

- 法務大臣（更生保護法人千葉県婦性会）
- 社会福祉法人千葉いのちの電話



令和2年中の社会貢献活動

当協力は、設立以来一貫して地域に根ざした社会貢献活動を続けております。

令和2年中、当協力は次の団体が推進している社会福祉活動、慈善事業等に対して支援を行いました。

- ★ 公益社団法人 千葉県防犯協会
- ★ 更生保護法人 千葉県婦性会
- ★ 公益財団法人 千葉県暴力団追放県民会議
- ★ 社会福祉法人 千葉県社会福祉協議会
- ★ 公益財団法人 千葉日報福祉事業団
- ★ 社会福祉法人 千葉いのちの電話
- ★ 公益財団法人 千葉県警察育英会
- ★ 千葉犯罪被害者支援センター



公益財団法人千葉日報福祉事業団への寄付
(写真左側 立澤理事長、右側 千葉日報工藤部長)

